

こどものPTSD



やさしい心のケア技法

遊びが子どもにとって、どんなに成長促進的か、癒し効果があるか、あるいは治療的意味があるか、多くのこどもの心理学者たちが伝えてきました。

おこさんを取り囲むご家族、幼稚園・保育園・学校の先生方、心理士の先生方、それぞれに、おこさんと「遊ぶ」機会をお持ちでしょう。そんな皆様が、おこさんの心のケアを日常的にできるようになることを目標に、今回ワークショップを開くことにしました。

このワークショップでは、皆さんのおうちにも、職場にも、きっとある玩具、「積木」を使います。シンガポールの児童精神医学博士である、Dr. Kong Douglasに直接に教わった技法（テクニク）をもとに、川村が日常場面でも使えるやり方に改定しました。

実際に、積木遊びを通して心に触れるのが、どんな効果があるのか体験してみてください。遊びの心理学的な意味にきっと出会えるでしょう。そして、ご自身にとって大事なこどもたちに、やさしい遊びの時間を提供してあげてください。身近なところから始まる心理学的支援の一步となることを期待しています。

リーダー：川村良枝（聖学院大学 PAS心理教育研究所）

時 間：9月2日（日）アゴラプログラム

9：30～11：40および14：30～18：30の2回

会 場：宮城学院女子大学 大学体育館

対 象：日ごろおこさんと関わっている方、今後こどもの心理ケアに関わりたい
と思っている方なら、どなたでも。

お申込み：

ワークショップ参加ご希望の方は、「一般向け 無料 災害臨床プログラム」への参加
申込が必要となります。次の2つの方法でお申込みいただけます。

1: 大会ウェブサイトのオンライン参加登録のページからお申込みください。

2: 同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、大会事務局まで郵送またはFAXにてお
送りください。

当ワークショップの参加登録は、アゴラ当日、午前9時および午後2時より、受付にて
行います。